

衆議院予算委員会ニュース

平成 23. 2. 3 第 177 回国会第 5 号

2月3日(木) 第5回の委員会が開かれました。

- 1 平成 23 年度一般会計予算
平成 23 年度特別会計予算
平成 23 年度政府関係機関予算
- ・ 菅内閣総理大臣、片山総務大臣、前原外務大臣、野田財務大臣、高木文部科学大臣、細川厚生労働大臣、鹿野農林水産大臣、海江田経済産業大臣、大畠国土交通大臣、松本環境大臣、北澤防衛大臣、枝野国務大臣（内閣官房長官）、中野国務大臣（国家公安委員会委員長）、自見国務大臣（郵政改革担当）、蓮舫国務大臣（行政刷新担当）と謝野国務大臣（社会保障・税一体改革担当）、玄葉国務大臣（国家戦略担当）、福山内閣官房副長官及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

齋藤 健君（自民）

- ・ 平成 23 年度予算編成の基本方針で示された地域自主戦略交付金について、各都道府県の配分基準を定めるための客観的指標を提出する時期はいつなのか片山総務大臣に伺いたい。
- ・ 尖閣諸島の領有権問題について、昨年 10 月のブリュッセルでのアジア欧州会議の際に行われた中国の温家宝首相との会談の際に、尖閣諸島は我が国固有の領土であるという日本の立場を説明したのか。
- ・ 社会保障改革について、菅内閣総理大臣は 4 月以降に考えをまとめると発言しているが、この社会保障改革の中には年金改革、医療改革も含まれるのか。

田村 憲久君（自民）

- ・ マニフェストで示された財源捻出目標はどの程度、達成出来ているのか。埋蔵金や国有財産は恒久財源とは言えず、マニフェストの財源捻出目標は実現不可能なのではないか。
- ・ 社会保障と税の一体改革では消費税を引き上げることが前提となっているのか。改革案の議論によっては上げをしない可能性もあるのか、菅内閣総理大臣に伺いたい。
- ・ 年金改革において、最低保障年金などのマニフェストで示された民主党案の骨格が変わる可能性はあるのか。また、出生率は回復しつつあるが、これが年金財政に与える影響についてどう考えているか。

小里 泰弘君（自民）

- ・ 鳥インフルエンザ（H5N1）について、家畜伝染病予防法の対象外である特定野鳥に対し、法的整備が必要なのではないか。
- ・ 霧島山（新燃岳）噴火対策について、財政面を含む全面的な地方支援が必要なのではないか。また、農作物被害の補償についての取組状況を鹿野農林水産大臣に伺いたい。
- ・ TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）締結よりも、EPA（経済連携協定）締結を戦略的に進めるべきであると考えますが、菅内閣総理大臣の考えを伺いたい。

富田 茂之君（公明）

- ・ 高校授業料の無償化によって負担が増えた世帯について民主党政権の閣僚らは「適切に措置する」と発言していたが、改善されたのか。
- ・ 給付型奨学金事業の創設を 2 年連続で見送ったのは何故か。また、子ども手当や科学技術振興費と同様に、経済危機対応・地域活性化予備費から奨学金事業の予算を支出することについて、菅内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・ 国と地方の役割分担を明確化した子育て支援制度の在り方について、片山総務大臣の所見を伺いたい。

遠山清彦君(公明)

- ・「尖閣諸島開拓の日を定める条例」制定記念式典において、政府・与党から出席者がいなかった理由と祝電を送らなかった理由はそれぞれ何か。
- ・諫早湾干拓事業を巡る訴訟について、菅内閣総理大臣が上告を断念するに至った理由及びその経緯は何か。また、上訴断念を決断するに当たり、当事者の意見を聞かなかったことについて、菅内閣総理大臣はどのように考えているのか。

赤嶺政賢君(共産)

- ・沖縄返還交渉における尖閣諸島の取扱いについて、日米の姿勢に違いがあった経緯はどのようなものか。
- ・尖閣諸島を巡る日中関係の緊張に対しては、話し合いを重視して臨むべきではないか。
- ・沖縄周辺における米軍及び自衛隊の動向がアジアの緊張感を高めているのではないか。

照屋寛徳君(社民)

- ・普天間飛行場移設問題について、日米合意を踏まえつつ沖縄の理解を得ていくということであるが、沖縄の理解を得たとする判断基準について菅内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・不平等な日米地位協定は改定すべきと考えるが、菅内閣にはその意思があるのか、また普天間飛行場移設問題と日米地位協定の見直しはリンクしているのか。
- ・護衛艦たちかぜの自衛官の自殺事件に対する横浜地裁判決について、北澤防衛大臣の所見と遺族への謝罪の意思の有無について伺いたい。

山内康一君(みんな)

- ・ODAの意義について、菅内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・平成23年度予算において、ODA予算が減額されているが、その理由について菅内閣総理大臣の所見を伺いたい。
- ・ODAの内容について、貧困層への援助よりもインフラ整備等の経済重視の活動に偏重しているとの懸念があるが、前原外務大臣の所見を伺いたい。

大串博志君(民主)

- ・社会保障改革案の検討とマニフェストの検証は一体不可分であると考えますが、玄葉国家戦略担当大臣の所見を伺いたい。
- ・国家公務員総人件費の2割削減について、政府における現在の取組状況を伺いたい。
- ・特別会計の事業仕分けにより、どのような成果があったのか。また、事業仕分けは今後も継続していくつもりか。

郡和子君(民主)

- ・恒久的な求職者支援制度の実現に向けた細川厚生労働大臣の決意を伺いたい。また、大学における就職活動への支援について高木文部科学大臣に伺いたい。
- ・新成長戦略におけるライフイノベーション戦略について海江田経済産業大臣に伺いたい。また、革新的な医薬品等開発の際の安全面における対策について細川厚生労働大臣に伺いたい。
- ・警察における死因究明のための取組について中野国務大臣(国家公安委員会委員長)に伺いたい。